

「原宿見える館」2ヶ月で来館者数1,000人を突破

記者発表資料

横浜市戸塚区の原宿交差点改良工事に伴うインフォメーションセンター「原宿見える館」が11月1日に来館者1,000人を突破しました。

記念すべき1,000人目の来館者は戸塚区在住の松島 靖子さんで、横浜国道事務所より来館1,000人目の証明書と記念品が贈られました。

【来館1,000人目松島さんのコメント】

- ・近くにいた友人が東北に引っ越したので、原宿の近況の写真を『見える館』から撮影し送ってあげようと想い来館しました。
- ・とても解りやすく展示がされていて、原宿交差点が将来どうなるかが解りました。



来館 1,000 人目の証明書と記念品を贈呈

平成19年11月1日
国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所

記者発表クラブ

神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者クラブ

問合せ先

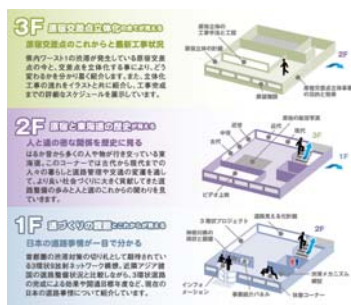
国土交通省	関東地方整備局	横浜国道事務所	045-311-2981 (代表)
計画課長	どひ まなぶ 土肥 学	内線	451
調査課長	こんどう すすむ 近藤 進	内線	461

参考資料

道づくりの歩みと工事の最新情報が「見える」

現在工事が進められている戸塚区原宿交差点は国道1号と横浜環状4号が交差しており、1日に約10万台もの車が集中する県内ワースト1の渋滞発生地で、その経済損失額は年間約100億円に上ります。また、渋滞を避けるため、生活道路を抜け道として利用する車によって歩行者の安全が妨げられる他、排気ガス等による環境の悪化など様々な問題が生じています。原宿交差点を立体化することでこれらの問題の軽減が見込まれます。

「原宿見える館」は、現在、国土交通省が進めている「道路見える化計画」の一環で、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していく取り組みを分かり易く地域の皆様にお伝えするため、原宿交差点改良現場監督員詰所を利用して、歴史街道である東海道を意識したなまこ塀風の外観で今年8月23日にオープンしました。



館内は、県内の国道の現状や課題、工事の最新情報などが「見える」ように3つのフロアを設け、それぞれのフロアでは、「県内の道路の状況と三環状」、「原宿と東海道の歴史」、「原宿交差点立体化工事の状況とその効果」といったテーマに沿ってパネルなどにより分かりやすく展示しています。これら展示物は、工事の終了まで進捗状況に合わせて内容を更新していきます。最新の工事情報を得ながら、地域の総合学習の場や散策の際の休憩所としてもご利用できますので、是非ご来館下さい。

住 所：神奈川県横浜市戸塚区原宿3丁目

電 話：045—851—6311

開館時間：9時30～17時（月～金）

休 館 日：土日・祝祭日・年末年始

（入場無料）